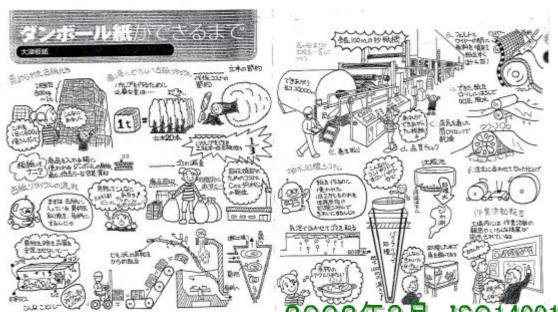
大津板紙株式会社 環境方針

大津板紙株式会社は、板紙の製造会社として、古紙のリサイクルにより社会が求める製品及びサービスと信頼を持続可能な形で提供しつつ、地球環境と調和した豊かな生活・文化・社会の創造を目指し、要員参加による環境マネジメントシステムを構築・文書化しま行、維持、継続的改善を推進します。

- 1. 自主的な環境保全活動を推進するため、環境マネジメントシステムを構築し、維持向上に努め、環境負荷の継続的改善及び環境汚染の予防をコミットメントします。
- 2. 当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を厳守します。
- 3. 社会や地域における環境保全への支援、協力活動を積極的に行い、社会に貢献します。
- 4. 水と大気、エネルギー、原材料、資材を資源としてとらえ、有効利用と省資源を推進します。
- 5. 廃棄物の発生量を削減し、的確な分別を行い、かつ有効利用を推進します。
- 6. 環境目的、及び目標を設定、定期的に、レビューする。
- 7. この方針は当社で働く又は当社のために働くすべての人が理解し、環境に関する意識の向上をはかるとともに一般の人に 公開します。

2005年 10月 1日 大津板紙株式会社 代表取締役社長 宮崎君武

業界初100%リサイクル古紙の段原紙です。 この紙は、当社製品の段ボール原紙「SCライナー」の見本を使用しています。



「段ボール紙が出来るま で」は

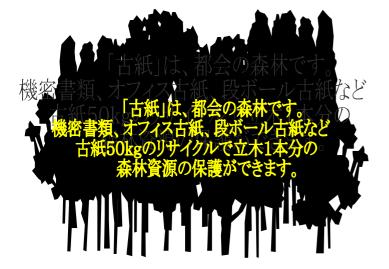
[京阪神]親子で出かける **社会科見学おもしろガイド** 26~27ページ

COFFICE あんぐる メイツ出版㈱刊 より転載しました。



2002年3月 ISO14001認証取得

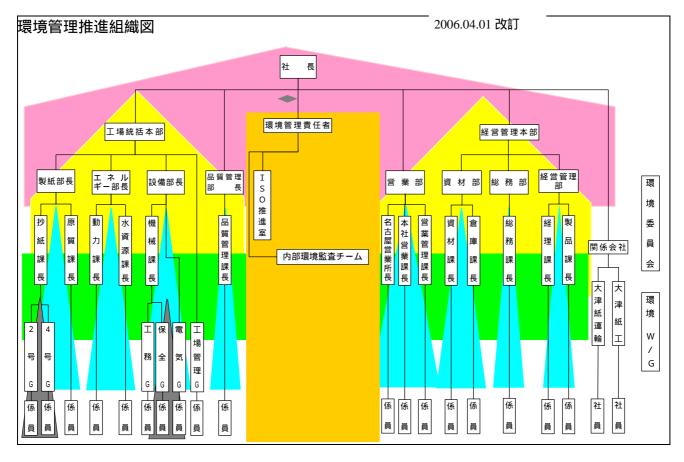
「古紙」は、 都会の森林です。



「経営理念」

私たちは古紙のリサイクルにより 安価で良質な段ボール原紙を供給し 地域と社会に貢献します

> 大津板紙株式会社 2006年度環境報告書



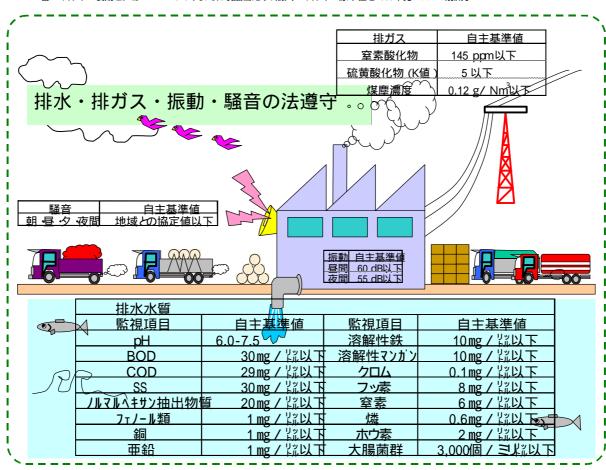
大津板紙 環境マネジメン 目的・目標表

	7.77 IVANIA 2000 1 2 2 2 1 H 5 3 H 10 10												
\setminus	環境方針	環境目的 (2008年度のあるべき姿)			2000年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2008年度			
\	環境月到 環境日的 (2000年度のめなべき女)			BM	実績	実績	実績	実績	目的				
1	省エネルギー	総エネルギー使用量 (原単位) 12.5%削減		%	100.0	101.2	92.1	89.5	88.1	87.5			
2	2 省資源	軽油使用量 6%削減	トラック (燃費)	%	100.0	103.1	97.1	98.2	92.7	94			
			リフト(原単位)	%	100.0	89.3	103.3	96.4	92.5	94			
3	廃棄物削減	廃棄物発生率 15%削減		%	100.0	89	88	84	82	85			
4	再資源化	廃棄物の再資源化 99.99% ゼロエミッション		%	99.98	99.99	99.99	99.99	99.99	99.99			
L		廃棄物の分別回収		分類	2	29	-	-	-	-			
5	法的及びその他 の要求事項遵守	水質 騒音 振動 悪臭 排ガスの異常 苦情ゼロ		件	-	0	0	0	0	0			

機密書類やオフィス古紙は焼却処分が非常に多く、大気汚染、木材資源損失、費用損失などを招いている。 近隣企業、官公庁、団体に機密書類やオフィス古紙のリサイクルを呼びかけ、焼却処分されている古紙を紙に再生することで、環境負荷の低減ならびに資源の保護に貢献する。

6	古紙リサイクル	機密書類収集再資源化量 230%	トン	2,100	4,600	4,920	4,252	4,221	4,830
7	地域環境保全	環境ボランティア活動の積極推進		-		清掃実施 20回/年、の	清掃実施 23回/年、の	工場周辺地域の定期 清掃実施 24回/年、の ベ 257名参加	-
,		環境教育啓発	-	古紙のリサイクル工場 見学会受入 15回/年 開催、のべ 181名来社	見学会受入22回/年開	見学会受入 18回/年	古紙のリサイクル工場 見学会受入 26回/年 開催、のべ 476名来社	-	

省エネルギー長期ビジョン 2010年までに製品当たりの購入エネルギー原単位を1990年比 13.8%削減」



連絡先: Tel:077-522-2053 Fax:077-521-5135 e-mail:P025@otsu-itagami.co.jp 工場管理 G まで